

過去事例を引用した警戒の呼びかけ

平成16年台風第16号

平成16年（2004年）8月30日

瀬戸内海沿岸で記録的な高潮

「自らの命は自らが守る」 社会を支える取組



気象庁 広島地方気象台

Japan Meteorological Agency Hiroshima Local Meteorological Office

平成16年（2004年）台風第16号（8月30日）

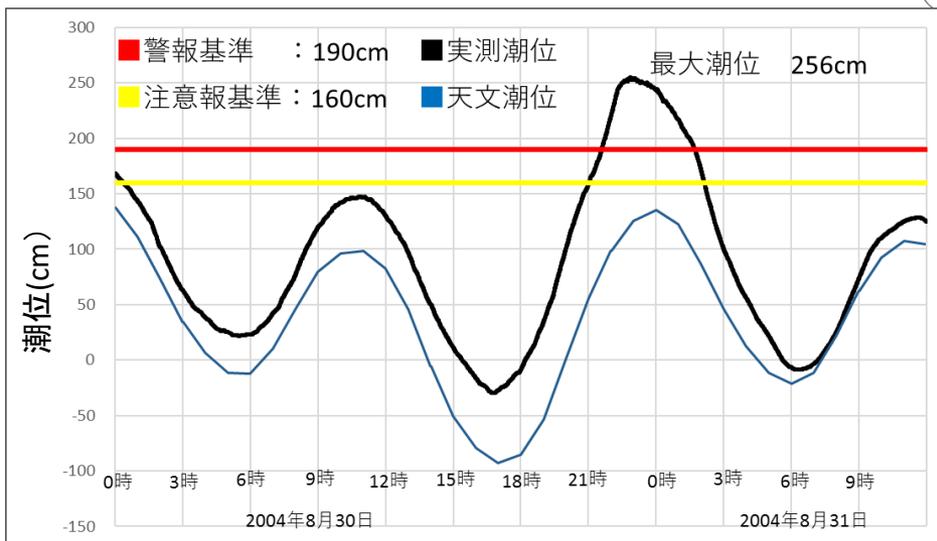
～観測開始以来の最高潮位となり、瀬戸内沿岸部に大きな高潮被害をもたらした平成16年台風第16号～

8月29日から31日に、全国的に最大潮位偏差50cm以上を観測し、特に瀬戸内海沿岸を中心に1mを超える大きな高潮が発生した。

一年を通して最も潮位の高い時期にあたり、30日夜に台風接近と満潮とが重なって、宇野港では観測開始以来の最高潮位となった。岡山県で床上浸水4918件、床下浸水6205件、広島県で床上浸水1363件、床下浸水5422件となるなど、瀬戸内沿岸では高潮による大きな被害が発生した。

当時の状況とは、まったく同じにならないことに留意

宇野港の潮位（平成16年8月30日～31日）



※潮位は3分平均値で表示

台風16号により浸水被害が発生した岡山県沿岸市町村



出典：岡山県消防防災課発表資料（平成16年9月1日）